

議会だより



今年は年長組 期待と不安を胸に -キッズランドやちよー

3月定例会

- 住民の暮らしを守る予算になっているか ▶ 2
- 甘すぎるのではないかと 町長の処分 ▶ 6
- 委員会のうごき ▶ 22
- こんなんどない これどうなるの 11人が一般質問 ▶ 12

予算になっているか

予算委で厳しくチェック

3月6日から27日までの22日間の日程で第22回定例会を開催しました。この定例会には、65案件が提案されました。慎重審議の結果、いずれの案も原案のとおり可決しました。

21年度予算案を賛成多数で可決

21年度の予算は、総額184億4049万1000円。20年度と比べて3億5219万円あまり少ない額です。議会では提案された予算案に無駄はないか、住民の暮らしを守る町政になっているか、を予算特別委員会を設置して、延べ10日かけて細かくチェックしました。

27日におこなわれた採決では6人の議員が討論に立ち、それぞれの立場から予算案に意見を述べました。

一般会計は、賛成者13人、反対者4人。下水道事業、簡易水道会計特別予算は、賛成者16人、反対者1人。その他特別会計は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

こんな理由で

積極的な施策展開を

21年度予算案は、小学校6年生までの入院無料化、保育料の引き下げ、国民健康保険税の申請減免制度、介護保険の軽減制度、住宅新築助成制度の新設や八千代の学童保育施設建設など、要望の多くが実ったことは歓迎します。

しかしお年寄りや障害者などの医療費自己負担の値上げが計画されており賛成できません。

また住民の地域活性化のアイデアに充分応えない受け身の予算案です。地域経済活性化へは、さらなる積極的な施策展開が必要です。

反対

合併した原点到ち戻れ

立ち戻れ

収入の8割以上を地方交付税や国・県からの支出金、基金の取り崩しに頼らざるをえないのに、抑えられない支出。あまりにも収支のバランスが悪すぎます。例えば、

- 八千代区の学童保育施設の新設は、児童の減少化にもらみ、既存の施設のリニューアルで。
- 加美区の町道「川東線」の整備。「R427の日」も設けている今、ラベンダー園へは国道経由で。不急の工事です。
- シカ解体施設整備のための調査は、施設建設へと続く事業。鹿肉料理開発と施設の建設は別です。

住民意識の方が高い

いつまでも加美町長では「心の合併」は無理。会議のみで企業誘致は不可能。審議会報酬や需用費のみの事業など意味がありません。

地元事業でも「財政は大丈夫か。」「空庁舎、空教室の利用もせず、箱物計画が目立つ。」と住民意識の方が高い。

地方公務員法は「社会一般の情勢に適応するよう随時、適当な措置を講じなければならぬ。」とあります。職員削減や給与等に対し解釈が不当。342億円もの借金があるのを忘れてはいけません。

住民の暮らしを守る

国保に減額 免除制度新設

21年度予算案には、住民の暮らしを守るための施策として国民健康保険税の減額免除制度や介護保険料の減額制度の新設、保育料の引き下げなど、この間、議会審議を通じて提案してきた施策が盛り込まれています。



地域局が引っ越してきます

こんな理由で

賛成

道路整備は

経済活動に必要

秋田 清

本年度一般会計予算は、住民生活の安全安心を守る施策や、農林業や商工業を支援する施策など、多可町の地域活力を高めるための予算です。特に道路整備の重要性は、今さら言うまでもなく、救急医療の迅速な享受や緊急災害時における避難、また通勤通学、買い物等あらゆる日常生活の活動など、安全で安心な地域での暮らしや社会経済活動に大きく貢献します。

合併特例債を活用した事業は、期限が限られており、厳しい財政運営の中で、効率的な財政計画に配慮した予算です。

健全財政を堅持しつつ

基盤整備を

渡辺喜博

厳しい財政状況の中にも希望が持てる施策を展開しなければなりません。平成35年度までの長期財政計画のもとに、庁舎整備、学校耐震補強、旧町間のアクセス道路整備等に特例債を有効活用した予算計上がされています。また交通や文化的にも不便な周辺地には消防施設や町道整備等辺地債を有効活用し、地域的にも均衡がとられています。指定管理者制度導入の施設については、本年度も経営診断を実施し、厳しく指導しながら施設を育てようという姿勢を評価し賛成します。

効率・縮減予算を

評価する

小林 治

戸田町長は、21年度予算上程に当たって、『交付金が減り、不況で税収が伸びない。21年度合併特例債を活用した町道やコミュニティプラザの整備、民間企業と連携した「たかテレビ」放送を全町拡大など、少ない財源を効率的に活用していきたい。そして、「旧町間の垣根を取り払い、町民の一体感を高める事業を重点」に、投資的経費を極力抑えた縮減予算』と提案説明されました。予算総額184億4049万円は適切妥当な予算と評価し賛成します。

分科会で細かくチェック！

総務

21年度予算に 無駄はないか

問 毎年公共工事のために設計監理委託料を使っているが、専門職員を採用したら経費削減にならないのですか。

答 複数の採用が必要で、当町では仕事量から経費削減にはなりません。

問 現状のままチップ工場の運営を森林組合にまかせても負担をかけるだけ。販路拡大のため、用途が多いチップを作るカッターを導入すべきでは。

答 チップポイラー導入事業所が増えれば経営は安定します。
ただチップ工場は利益追求施設ではなく、間伐材再利用による地球温暖化対策（エコ）を目的として開設したものです。



若者をたくさん連れてきてね

問 町が借家等を借りて「緑のふるさと協力隊」を受け入れますが、当町へのメリットは。

答 緑のふるさと協力隊は、NPO法人地球緑化センターから一年契約で派遣される都会育ちの若者です。これまで延べ420人が派遣され、内40%が定住の実績を持っています。

問 この度は関東の青年1名を迎えます。農業・林業・観光等何にでも挑戦されます。児童生徒に合わせた

栄養計算がされた給食にもかわらず、残飯が多く出ているのは食育からも好ましくなく、バター等を添えるなど工夫で完食が望めるのではないですか。その為には多少の給食費が値上げされても仕方ないと思いますが。

答 給食指導などで努力をしています。
現在の給食費では、食材の値上がりに対応できなくなっています。ただ、給食費を安易に値上げしたくないという思いはもっています。

産業建設

インフラ整備 明確なビジョンを

問 加美区川東線道路改良新設工事が予定されています。事業の緊急性等が感じられませんが、必要な工事ですか。

答 丹波加美線整備後は通行車両が増加する見通しです。工事は加美区観音寺地域の安全対策等、地元からの強い要望に基づくものです。

問 シカ肉解体施設調査費用が計上されていますが、販路を十分に確保することが先決では。

答 シカ肉の需要等を含め、マーケティング調査もします。

問 下水道未接続家庭の基本料金廃止が計画されています。未接続家庭の調査とは、具体的にはどのような調査ですか。

答 各戸ごとの排水設備の接続状況、利用状況の

調査を地元業者に委託しておこないます。

問 町が造成した宅地が未だに売れ残っています。PRなど具体的対策は。

答 町内外へはホームページやマスメディアを通じてPRします。

また実勢価格も調査し、引き続き売上に努力します。

問 木造住宅新築助成事業補助金では、地域経済活性化の意味からも、町内産の木材を使用するべきではありませんか。

答 町内産ではかえって高くつきます。県内産の木材を使用してもらう方向でお願いします。

左表の「H20最終予算」と「H21予算」はそれぞれ前年度から繰り越す予算等を加えています。
補正予算での修正が多かった20年度と21年度の比較を容易にするために作成しております。

厚生

子育て応援の充実を



子どもは町の宝もの ー 松井幼稚園 ー

問 加美区地域局フェニックス防災システムを撤去する予定ですが、支障はないのですか。

答 移設には、700万円必要です。無くても対応できるので撤去します。

問 現在加美区には、2つの幼稚園と90人定員の2つの保育所があります。キッズランドかみと

して統合する計画があります。定員は何名を予定していますか。

答 150名から170名の範囲を想定しています。

問 その定数で希望者全員を受け入れられますか。

答 大丈夫です。

問 町内全体で160人程しか新生児が生まれて

きませんが、少子化対策の一つとして、さらなる保育料の引き下げが必要ではありませんか。

答 キッズランドかみを建設する中で考えていきたいと思っています。

問 八千代診療所の管理費が大幅な減額になっていますが。

答 20年度末に、委託していた西脇医師がご勇退のため雇用の形が変わったこと。また、予算編成時に、事務費を計上するのが間に合わなかったことなどが要因です。足りない分は補正予算で対応します。

問 倒産やリストラ、派遣切りなどで生活が苦しいのに病気になったときに無料で診療を受けることのできる制度があります。町内には3つの診療所がありますが、この制度に対応する必要がありますか。

答 対応可能なのかどうかも含めて調査します。

歳入

単位千円

科目	H20最終予算(調整後)	H21予算(調整後)	増減額	増減率
地方税	2,102,842	2,050,231	△52,611	-2.5%
地方譲与税	192,000	185,000	△7,000	-3.6%
各種交付金	402,542	343,500	△59,042	-14.7%
地方交付金	4,559,234	4,400,000	△159,234	-3.5%
分担金・負担金・寄付金・財産収入	206,176	251,748	45,572	22.1%
使用料及び手数料	242,031	219,848	△22,183	-9.2%
国庫支出金	475,305	1,033,818	558,513	117.5%
県支出金	640,666	751,062	110,396	17.2%
繰入金	916,449	1,072,514	156,065	17.0%
内基本繰入金	895,184	1,053,092	157,908	17.6%
繰越金	43,732	96,383	52,651	120.4%
諸収入	343,899	365,289	21,390	6.2%
町債	1,763,205	1,432,100	△331,105	-18.8%
合計	11,888,081	12,201,493	313,412	2.6%

歳出

単位千円

科目	H20最終予算(調整後)	H21予算(調整後)	増減額	増減率
議会費	104,335	99,490	△4,865	-4.7%
総務費	2,367,587	2,287,873	△79,714	-3.4%
民生費	2,367,345	2,476,256	99,911	4.2%
衛生費	868,848	813,985	△54,863	-6.3%
労働費	101,410	101,829	419	0.4%
農林水産業費	893,975	1,203,528	309,553	34.6%
商工費	196,845	208,583	11,738	6.0%
土木費	972,709	963,652	△9,057	-0.9%
消防費	408,900	469,678	60,778	14.9%
教育費	1,555,294	1,501,235	△54,059	-3.5%
災害復旧費	11,495	0	△11,495	-100.0%
公債費	1,879,240	1,947,718	68,478	3.6%
諸支出金	150,098	126,686	△23,412	-15.6%
予備費	1,000	1,000	0	0.0%
合計	11,888,081	12,201,493	313,412	2.6%

こ ん な

条例を決めました！

今回提案のあった条例の改正・制定案件は全部で17。議会では3つの委員会に分かれて延べ5日かけて審査しました。

条 例	賛成	反対	結果
地域情報等通信基盤施設の設置及び管理に関する条例	17	0	可
税条例の一部を改正する条例	17	0	可
町立運動施設条例の一部を改正する条例	17	0	可
町営住宅管理条例の一部を改正する条例	17	0	可
手数料条例の一部を改正する条例	17	0	可
福祉医療費助成条例の一部を改正する条例	15	2	可
母子家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	15	2	可
介護従事者処遇改善臨時特例基金条例	17	0	可
介護保険条例の一部を改正する条例	17	0	可
多可町立保育所条例の一部を改正する条例	17	0	可
遺児等手当支給条例の一部を改正する条例	15	2	可
産業立地等促進特別措置条例の一部を改正する条例	17	0	可
農林業公園条例の一部を改正する条例	17	0	可
特別会計条例の一部を改正する条例	17	0	可
木質バイオマス供給センター条例の一部を改正する条例	16	1	可
課設置条例の一部を改正する条例	17	0	可
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	10	7	可

甘すぎるのではないか！

— 町長の処分 —

3月27日の定例会最終日に町長から、自らの管理責任に対する処分として減給するための条例の改定案が議会に提案されました。この度減給処分となるのは、町長と副町長の2名。いずれも減給20%1カ月。3名の議員の討論の後おこなわれた採決では、7名の議員の反対がありました。

反対討論

最高責任者としての自覚を疑う

この度の減給処分は監督責任を問うてのものなのに町長、副町長とも同率で同じ処分です。町長は副町長より大きな監督責任があるはず。副町長よりも重たい処分を科してこそ職責に応じた処分です。最高責任者としての自覚を疑います。

辻 誠一

一カ月の減給は軽すぎる

今回の減給は、新たに発覚した職員の不祥事だけでなく、昨年の秋に、新聞紙上で公表された職員の不祥事数件を含めての減給、とのことですが、1カ月では軽すぎます。2カ月でも3カ月でも減給されたいのではありませんか。監督責任は大です。

高澤 栄子

納得できない

滞納額が増加することへの要因になったことなどに対して、反省されていることは認めます。

廣畑 幸子

また、減給20%1カ月というのは、公務員の中では極めて厳しいことなのかもしれませんが、不十分だと考えますので、反対いたします。

医療費窓口負担を変更

入院小学6年生まで無料に

福祉医療費助成条例を改定して7月1日から小学6年生までの入院自己負担を無料とすることにしました。

現在小学3年生までの医療費は、通院も入院も無料としています。

新たに4年生から6年生までの児童が入院した場合は、いったん窓口で医療費を支払う必要がありますが、役場窓口に請求すれば、医療費自己負担が給付されます。

賛成討論

子育て支援に重点化

小牧 勝

老人医療費助成事業は、助成対象を低所得者に重点化するなど県の行財政改革の一環として実施するものです。

またこの改正で、新たに小学6年生までの入院自己負担を無料化し子育て支援がより一層手厚くなるので賛成します。

お年寄り、障害者、母子家庭等は負担増に

65歳以上70歳未満の住民でこれまで2割負担だった人のうち約6000人の方や障害者、母子家庭等の住民の医療費窓口負担が値上げされます。

町は、県からの補助を受けて窓口負担金の一部を助成してきました。

今回の値上げは、県の補助金削減に伴うものです。

反対討論

県行革から暮らしを守るべき

辻 誠一

この改定で、多くのお年寄りの医療費窓口負担が3割になります。多可町は敬老の日発祥の町でもあり、お年寄りいじめには断固抗議するべきです。県費のわずかしか占めない、福祉医療削減の撤回を県に求めるためにも反対します。

遺児手当にも

行革の波が

これまで町は、母子家庭等になってから多可町に移住してきた子ども達にも月額20000円の遺児手当を支給してきました。この改定で住所を移して1年以上経過しなれば支給されなくなりま

す。

問 何のための改定か。
答 毎年30世帯以上が母子家庭等として住民になっています。厳しい財政状況の中ご理解ください。



子どもは元気が一番

賛成討論

近隣市町との連携は大切

小牧 勝

町は近隣市町にならつて子育て施策など子どもを対象とした施策をたくさん進めています。

この改正も近隣市町とのバランスを考慮して1年以上の定住を義務付けるものです。

反対討論

罪無き子どもを排除するのか

辻 誠一

この度の改定で1年以上住んでいない住民は対象から外されます。

しかしどこで遺児になるうとも子ども達には何の罪もありません。心傷つき帰ってきた住民に1年以上住まねば町民にあらずと排除する事が正しい事だとは思えません。

指定管理者を再指定

平成18年9月、町は33の施設で指定管理者制度を導入、公の施設の管理運営を指定管理者に委ねました。

3年を経過して指定管理期間が満了した今議会では、それら施設についての指定管理者の再指定と、新たな施設における指定管理者制度の導入、指定管理者の指定などに

ついて審議、議決しました。

今回、再指定として提案されたのはココロン那珂、かみアグリハウス、なごみの里など下表のとおりです。

ハーモニーパーク内にある風力発電・太陽光発電施設が新たに指定管理施設として追加されました。



おいしいアイスクリームです。どうぞ
—フレッシュあぐり館—

加美総合福祉センター	農林業公園「ハーモニーパーク」
高齢者・障害者等活動及び生活支援促進施設「ささゆりふれあいセンター」	かみアグリハウス「フレッシュあぐり館」
中老人福祉センター「おもいで荘」	農林産物加工体験施設「エアレーベン八千代」
認知症高齢者グループホーム「やすらぎの郷」	大和交流活性化施設「なごみの里 山都」
中在宅心身障害者(児)小規模通所施設「開拓松葉園」	八千代自然活用村施設「エーデルささゆり」
加美小規模作業所兼ふれあいセンター「みどりの家」	滞在型市民農園施設「クラインガルテン岩座神」
中地域物産館「ふるさと工房 夢蔵」	滞在型市民農園施設「フロイデン八千代」
かみ物産センター「道の駅R427」	滞在型市民農園施設「ブライベンオオヤ」
かみ南直売所「かみの朝市南直売所」	滞在型市民農園施設「ブルーメン大和」
兵庫県立北播磨余暇村公園宿泊施設「ココロン那珂」	鳥羽キャンプ場

反対討論

指定管理者制度を活かされていない

高澤 栄子

指定管理者の団体やグループには、リスクを背負うということもわかっただけで、現状では町も指定管理者も認識が甘く、責任の所在がはっきりしていない。施設のあり方も含め、この制度を正しく理解する必要があります。

戦略的な管理運営を

門脇 幸澄

公共施設の指定管理者に町長や副町長が就くのは、内部委託と同じです。これは「民間のノウハウを活用した施設の効率的な管理運営」ではありません。町の幹部は施設に多額の税金を投入するためのパイプ役になってはいけません。

賛成討論

公共のあり方の創造を

河崎 一

指定管理者制度は、基本的には行政サービスの民間開放です。ゆるま湯体質、非効率な運営は断じて排除していかなくてはなりません。地縁団体、NPO等と協働の下、新しい公共をどう歩みだしていくかです。

再指定がベターである

大西 一好

指定業者が交代のたびにサービスが変わったり、コスト削減のみ優先になるのではなく、過去3年間の顧客獲得や経営のノウハウをこれからの3年間で拡充し、改善することを自治体と共有の中で、更なる努力を期待し再指定に賛成をします。

バイオマス供給センターで 指定管理者制度導入



温水プールにチップを搬入中

木質バイオマス事業の中核をなしている「木質バイオマス供給センター」（木質チップの製造）の運営管理を指定管理者制度へ移行するための条例改正と、指定管理者の指定について、所管の産業建設常任委員会に付託して審議しました。

審議の過程では、昨年度「バイオマスタウン構想」まで策定し、バイオマス事業を重点課題としている町が、早々とその

運営管理を指定管理者にまかせることの趣旨がわからない。これまで同様、森林組合に業務委託すればいいのではないか、指定管理料が多すぎる、また、間伐材の運搬用に購入した車輛についてはどうするのか、などの意見がでました。

本会議で採決の結果、賛成15名反対2名で可決。運営管理を北はりま森林組合に委ねることになりました。

反対討論

言うこととすることが不一致だ

高澤栄子

指定管理者制度への移行は、その事業を指定管理者に丸投げすることです。町は、「多可町総合計画」で木質バイオマスを主要施策に位置づけ、「バイオマスタウン構想」も策定しています。なのに、早くも町長はこの事業を放りだすのか。

賛成討論

町の負担軽減に

秋田 清

北はりま森林組合を指定管理者に選定することにより、運営を効率化し収益を改善させる道筋をつけ、管理運営経費の削減と町の負担軽減を目的とします。また一連の作業を効率的に行うことができ、森林組合が最適と判断します。

自立のため責任を今

大西一好

すばらしい理念を持ちながら試運転から2年半を経過、その広がりや誰がどうするか不明瞭のまま組合は町に、町は県にもたれて動かなかつたし、組合にも多くの負担が強いられました。管理者を指定し、責任を持たせて経営を任せるべきです。

ふたつの請願を採択

○ミニマムアクセス（MA）米の輸入停止を
求める請願

【本文】

請願団体 兵庫県農
民運動連合会

代表者 永井 修

紹介議員 辻 誠一

請願事項 〓ミニマム
アクセス米（MA米）の輸
入停止の意見書を政府関
係機関に提出すること。

・この請願は、12月議会
に提出されました。その



おいしいお米に育てね — JAみのり育苗センター —

食の安全確保・食料自給力向上に関する意見書

- 1、食料自給率向上に向け、MA米の輸入停止等積極的な政策を策定・推進すること。
- 2、自治体の一次産業振興計画に基づく施策を積極的に支援すること。
- 3、原材料の原産地表示を含む食品表示を積極的に推進すること。

後、所管の産業建設常任
委員会、近畿農政局か
らMA米や農業事情等に
ついて説明を受けるなど、
今議会まで継続して審議
してきました。結果、次
の意見書を賛成多数で議
決、政府機関に提出する
ことになりました。

○公共工事における賃金等確保法（仮称）の制定
など、公ていがく共工事における建設労働者の
適正な労働条件の確保に関する請願

請願団体 兵庫県建設

労働組合連合会、兵庫土

建一般労働組合

代表者 貴田 博明

宮崎 義明

紹介議員 河崎 一、

小林 治、竹本克之

請願事項 〓建設業を健
全に発展させ、雇用の安

定や技能労働者の育成を
図るため、公共事業にお
ける新たなルール作りに
ついての意見書を国に提
出すること。
・所管の産業建設常任委
員会で審議、全員賛成で
次の意見書を国に提出す
ることになりました。

1日も早い定額給付金交付を

臨時議会

2月23日に、
定額給付金等の
準備費用が提案
されました。



消費拡大の糸口に

議会では、口座を持た
ない住民への支給方法な
ど全ての住民が受け取れ
るのか等を確認。全員一
致で賛成しました。

定額給付金支給の 準備を

辻 誠一

定額給付金は消費税
増税とセット。「ばら
まき一瞬、増税一生」
というやり方は賛成で
きません。しかし、住
民には定額給付金を受
け取るのか、受け取ら
ないのかを選択する権
利があります。その権
利を保障するためにも
賛成します。

公共工事における建設労働者の適正な労働 条件の確保に関する意見書

- 1、公共工事において、建設労働者の適正な賃金が確保されるよう「公共工事における賃金等確保法」の制定を求めこと。
- 2、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の附帯決議事項の実効ある施策を進めること。

3月補正予算

八千代診療所

医師1名体制へ

3月末に八千代診療所の西脇先生が退任をされました。

町長は議会に、西脇氏に300万円の功労金を支払うことを提案。

議会は、厚生常任委員会に付託して、そもそも功労金の支出が適当か否か、金額は妥当なのかを調査し、原案のとおり可決することに問題なしとの結論を出しました。

採決の結果は、反対1名、賛成16名でした。

反対討論

**内規もなく
根拠のない支出だ**

高澤 栄子

公金を支出する限り何らかの定めが必要ですが、しかし、この支出には、要綱など内規もなく、金額の基準や妥当性についても多くの問題を含んでおり、対外的にも説明のつかない支出です。感謝の気持ちを表すことと、お金を出すことは別です。

賛成討論

**功績を讃え
支出は必要**

河崎 一

西脇先生の理解と協力はなしには診療所建設はできませんでした。富田先生という優秀なドクターを招聘いただいたのも先生のお力によるものです。大所高所に立った判断をいただき、今思えば計り知れない功績があります。

委員会での審議こそ 支出の根拠

辻 誠一

例えば1円のお金でも説明ができるということは基本なので、厚生常任委員会で充分検討し結論を出しています。なお八千代診療所で勤務していた看護師2名は急な退職を余儀なくされます。この度の報償費はその補償費にも充てられるものです。

20年度補正予算案が提案されました。例年は、事業終了に伴う精算が主な内容です。今回は、経済対策をかねて21年度に実施する事業が左表の内容です。今回は、経

・(仮称) 加美コミュニティプラザ整備事業 1200万円

加美地域局の取り壊しに伴い加美公民館を改修。地域局機能を備えた新しい施設に生まれ変わります。

・定額給付金給付事業 3億9518万2000円

最初は生活支援にと増設された制度が、景気対策に姿を変え国民全体に給付されます。多可町では、大半に給付されています。

・子育て応援特別手当支援事業 1240万円

国の平成20年度の緊急措置として、幼児教育期(小学校就学前3年間)の第2子以降の子1人につき36000円が支給されます。所得制限はありません。

・アクセス道路整備事業 3920万円

合併特別債事業です。町道山野部坂本線道路整備に向けての詳細設計委託料および測量委託料などです。

・消防設備整備事業 430万円

住宅の身近にある消火栓のホースを交換し、初期消火に速やかに対応できる環境を整えます。

・八千代中学校地震補強・大規模改造事業 2億4787万円

順次進められている学校施設の耐震工事、21年度は八千代中学校の耐震補強工事大規模改造の工事が計画されています。安全安心が確保されます。

こんなとない これどうなってるの

3月定例議会での一般質問は、
3月25日に行われ、11人の議員
が行政全般について質問をしま
した。



機能しているか セーフティネット保証

小牧

未だ先の見えな
い大不況の中、仕事量の
減少に加え金融機関の貸
し渋りなど、自営業者は
苦境に立たされています。
国は、売り上げが3カ
月連続して3%以上悪化
している業者等が、役場
の認定を受けることで融
資を受けることのできる
「セーフティネット保証
制度」を用意しています。
しかし融資を受けるこ
とのできる基準をクリア



小牧 勝 議員

していても、保証協会の
審査で融資の許可が出な
い場合があります。
役場として融資の成否
について追跡調査をする
べきでは。

**申込者のほぼ全員が
融資を受けている**

町長

セーフティ
保証は、急激
な仕入れ価格の暴騰のため、
十分な価格を転嫁する
ことが難しい中小事業
者に対して、平成20年の
8月に政府が決定したも
のです。安心実現のため
の緊急総合対策は、平成
22年3月31日までの時
限措置となっています。対
象となる業種は、771
業種。信用保証料率は、
一律年0.9%で、保証期間

は最長10年です。金融機
関に確認したところ、申
し込んだほとんどの業者
がセーフティネット保証
制度を利用して、融資
を受けられていると聞い
ています。



明るい対応 一産業課一



大西 一好議員

公共工事と 入札制度を問う

大西 低落札への対応と質の維持、新年度事業発注への工夫や設計価格と予定価格を同じにすること、総合評価制度導入および車検や物品等の業者選定は。

前倒し、分割発注で

副町長

最低制限
価格及び低

入札価格調査制度の価格設定の基準を見直します。総合評価制度は、今後必要と考え研究します。歩切り制度につきましては、時々状況を加味して続ける予定です。工事等発注の工夫につきましては、発注の前倒し・分割発注などに取り組みます。土木事業以外も入札で業者を選択します。

今後の地域局 体制を明確に

大西 地域局職員の数やサービスとなる事務内容は、地域住民のものとも関心の高いものです。将来の姿が住民本位に構想化されているか。また、バイオマスの導入を取り入れるべきと思いますが。

将来的には 8名の方向

町長

地域局機能を盛り込んだ

コミュニティプラザとして改修をし、公民館も含めて8名の方向です。構想には区長会、地域協議会、各種団体の意見を聴取しました。バイオマスについては、国県の支援を受けてコミュニティプラザの中に持ち込みたいと考えています。

青少年健全育成 組織の確立を

大西 青少年健全育成の組織と体制、そしてその機能化は。また、緊急体制とその連携や相談体制と実績について。北播磨青少年補導連絡協議会事務局の受け入れ体制の整備は。

4月より 相談体制を強化

教育長

青少年問題協議会や

青少年育成センター運営協議会の運営については反省をしています。4月より相談体制を強化し、出前相談や学校現場をサポートします。北播磨補導連絡協議会事務局体制については、教育委員会の陣容を有効に機能させていきます。



少数精鋭でしっかり頑張ります 一八千代地域局一



気軽に相談に来て下さい 一青少年センター一

環境問題は 産業構造の変化から



大西多津子 議員



間伐材をチップに加工

大西 今、地球規模で環境産業が発達しています。国でも大規模な支援が議論されています。多可町もバイオオマスチップが見直される時期がようとしています。多可町の山を森林組合が中心となり、町も協力し、バイオオマスチップで経済不況を、ピンチをチャンスに変えられるときではないですか。

木質チップの 利用拡充に努力

町長

バイオエネ ルギーが注目されていますが、木質系については、燃焼させることが一番効果が上がると聞いています。今展開しているチップは、販路がまだ明確になっていないが、方向としては間違っていないかと思っております。

指定管理者制度 より売却を

大西 指定管理者制度より、売却を考へてはどうか。これからの人口減少、不況構造の多可町で指定管理を続けていくことが、財政支援でどれほど住民の負担増をもたらすか分析し、もっと施設の有効利用を考へるべきでは。

経営努力に期待

町長

3月議会で、新たな3年間の指定管理を議決いただきました。経営診断を各施設に入れることも継続をします。事後の3年の中で収益が上がらない状況になれば、売却等々も含め検討せざるを得ないと思っております。

農林業を守れ

大西

恵まれた自然を後世に残していくことが我々世代が実行しなくてはいけないことです。山に興味を持ち、農業に力を注ぎ、荒廃した山々の修復も大切です。団塊の世代の退職も、自然に親しみ働く産業にしていく施策を考へては。

農林業を後世に

町長

粛々と木質バイオオマスの諸施策を展開していきます。そして木質バイオの関係で手を入れていくことが、山に手を入れていくことになるので、農林業を逆にとっていくことにもなると思えます。自然と資源を正しく見直す事が大事だと思います。



大きく育ったなあー



池田 義孝議員

国はいつまでも お上りではない

池田 補助対象財産処分の弾力化は国のテーマです。社会情勢の変化や地域活性化等に地域の創意工夫が得られるよう、(補助目的外への転用、譲渡、取り壊しに対する制限を極力減らし、処分期限期間の短縮化)や(自治体の業務内容を法令での詳細な「義務付け・枠付け」の見直し)が勧告されています。自治体も国の関与に不服なら、係争処理委員会に審査の申請ができます。なごみの里の入浴施設など、多目的使用を申請すべきです。



しっかり国の方向を議論してやあ(衆議院ホームページより)

省庁の縦割りは きつい

町長

町単独で国に対抗するには無理があり、町村会では意見申をしています。省庁の縦割り対応が厳しく、思うに任せません。20年経過の施設は、継続廃止、譲渡等を考慮します。

オバマ演説から 学ぶべきこと

池田 町の危機をどう認識しますか。町再生への基盤づくり作業をどう具体化し、町民をどう鼓舞されるつもりですか。住民自らが考えるべきことを何と捉えていますか。町の立ち向かうべき挑戦は何で、町民が礎とすべき価値観をどう認識しますか。

自らの町は自分で

町長

町の危機は、少子高齢化で、人口減少から来る活力の弱体化と認識します。自立(律)と自主的行動を重んじ生涯学習に力を注ぎます。三区の特性を重視し、一体感を醸成します。町づくり基本条例に



未来をになう
大切な子ども達
— 松井幼稚園 —

よって町民と共に考えます。所得再分配による格差是正や福祉水準維持を前提に「足るを知る」を基本に地域資源を最大限生かし、歴史、文化豊かな町を目指します。

指定管理者制度の問題点



門脇幸澄議員

門脇 公共施設への指定管理者制度の導入は、長年の赤字経営を改善するため、「民間事業者のノウハウを活用し、施設の効率的運営と住民サービスの向上」を目指すためです。

しかし、今回7つの公共施設に町長や副町長などの町の幹部が就いているのは制度の趣旨に反し、3つの公園に7500万円以上の管理料が投入されています。施設への多額の税金投入のパイプ役

ハーモニーパークとコロナ那珂の改善策を示し、今後の公共施設の経営改善策を示せ。

移譲や廃止も検討する

町長

建設後20年を経た施設や、改修が必要なものは廃止や移譲をも検討します。

副町長

ハーモニーパークの経営は収益性の高い果樹もあり、試験栽培と普及が目的です。赤字である以上、収益性の向上と経費を削減していきます。



ここも今回指定管理者施設に
—ハーモニーパーク風太君—

施設の統廃合と
図書館の充実について

門脇 現在両区で地域局などの統廃合によるコミュニティプラザの整備計画がありますが、その中で図書室の充実が両区の住民の強い要望です。遠くて大きな図書館の建設より、近くて便利な、個性ある図書室の充実が必要では。



蔵書も増えています —多可町図書館—

地域の個性ある図書室の充実を図る

教育長

多可町の規模からすると、あと約3万冊の増冊が必要といわれており、施設の拡充も必要です。図書室は学習エリアと読書しながら広げるエリアがあればいい。図書館は中心地にあって買物のついでに、子ども連れでも過ごせる魅力ある施設が求められると思います。



廣畑 幸子議員

住民に不便を かけないように

廣畑 加美地域局の取り壊しに伴い、加美公民館の改修工事が始まりま
す。生涯大学をはじめ、
年齢を問わず、大勢の方
が利用している公民館で
す。工事の内容は、改修
中は使えなくなります。
代替施設の確保はどのよ
うに。

施設によっては、使う
時期を考えた方がよいと
ころもあるようです。交
流会館など、離れている
施設も視野に入れる必要
があると考えます。また、
そのときは、足の確保も
必要になるのでは。

**着工は10月か
11月の予定**

町長

現在、耐震
補強など計画

中です。代替施設には、
地域局やかみingホー
ルを予定していますが、
この2施設で、ほぼ対応
できると考えます。その



元気いっぱい遊んでいます —キッズランドやちよ—

ため、足の確保はしてい
ません。交流会館や、北
公民館等になった時点で
考えます。

かみingホール

平成14年、加美中学校
校舎の前面改築・改修に
伴い作られた施設です。
地域間の交流・活動等に
住民に開放しています。

**幼保一元化に
向けて**

廣畑

加美区内には、

4つの幼稚園、保育所が
あります。今後も進む少
子化に向けて、幼保一元
化は取り入れる時期と考
えます。今後の計画はど
のように。

**23年4月から
開園予定**

町長

急速に進む
少子化に対応

した整備を進めるため、
4施設を統合、幼保一体
型施設で整備します。ま
だ詳細なところは決まっ
ていません。21年度に、
場所を決め、実施設計を。
22年度に建設工事。23年
4月開園予定です。
子育てふれあいセンター
は、併設の方向で考えま
す。

また、キッズランドや
ちよには、子育て学習セ
ンターが併設されていま
す。加美区ではどのよう
になりますか。



高澤 栄子 議員

自主財源の確保 具体策を示せ

高澤 21年度予算の収入では、自主財源（町税等）の割合が20%を切っています。

経済も雇用状態も不透明な中、今後の行財政運営では、収入が減り支出が増える、という覚悟が必要です。町税の減収と先細りも否めない中、自主財源確保への具体的な取り組みをどうするのか。今後の町財政いかんでは、合併特例債事業や長期財政計画にも影響があると思うが、修正の可能性も含めどう考えるのか。

**特別には考えず
これまでどおり**

町長

これまでどおり努力していくことには変わりはない。合併特例債事業等への影響はないと思うが、そのつど対処していきたい。



収支のバランスを大切に

兼業禁止規定の項目 条例に追加せよ

高澤 町の幹部が指定管理先の団体の役員、というケースが多いが、このことは指定管理者の選定や、その後の運営管理に公正や公平性を欠くと共に、透明性も保たれにくい。

「多可町の施設に係る手続き等に関する条例」には、町長はじめ幹部職員等の兼業禁止の項目が

ないが、追加する考えは。また、これだけ指定管理施設が多いと、指定管理者間のネットワークも必須で、PR等も連携すれば、費用の節減になると考えますが。

兼業をなくす方向で

町長

代表を変わる方向で考えているが、責任の問題もあり、難航しています。

なお調整を進めます。
担当課長 ネットワークを結び、強固なものにしていく。

のぎくバス コンセプトを明確に

高澤 策定された「町域公共交通総合連携計画」では、フリー乗車券の配布、とあるが、無料にしたから利用が増える、というものでもない。ほんとにバスが必要な交通弱者に照準を合わせて走らせるべきです。福祉関連施策とも連携を密にすべき。

全町民や

イベント対象に

担当課長

策定した計画をもとに、多くの町民に乗ってもらうため、乗り方等広報しながら、全町民を対象として走らせます。



安藤 弘 道議員



自転車が行き通れる歩道

歩道自転車通行可の 標識設置を

安藤 昨年6月改正された道路交通法により、13歳以下と70歳以上は通行が可能になりました。しかし登下校に一番使っている中高生は走れません。町内60km余りある歩道に、自転車マーク標識設置で、安全安心に登下

校ができるよう早急な対策を。

標識設置は

公安委員会

技 監

設置には、原則歩道の幅が2mとされています。狭い歩道で接触事故と歩行者の安全を考えると、すべての歩道には無理です。

給料と賃金の 格差は

安藤 昨年アメリカに端を発し、百年に一度といわれる経済危機。派遣切り、中途解雇と弱者は品物のように法一つの運用のあり方で棄てられています。

幅員や構造、交通量など調査して、今後指定範囲の見直しを、公安委員会に要望。中学生高校生の安全通行を確保したいと考えます。

昭和25年より施行されている国家公務員給与法に遠因があるように思えます。給料と賃金の格差は3・3倍から諸手当、補助金が入ることで9倍になります。格差を生む勤勉手当の見直しを。

人事評価の導入も

町長

職員の給料は扶養手当、通勤手当、期末・勤勉手当などを加えてあります。常勤の嘱託職員には、初任給をめぐに、非常勤職員には日給、時給で対応。手当に当たる部分が支給されません。勤勉手当については、成績主義の導入を考えます。

教育者確保の
環境づくり



竹本克之議員

竹本 総務委員会審査等で明らかになってきた教員不足は、近い将来に第2の医師不足同様の状況が危惧されます。

授業や部活指導から地域や家庭までの生活指導と、夜・昼ない過酷ともいえる現状に保護者等に対する気遣いも、教師の使命感と意欲を削ぎ、学校本来の姿を魅力のない環境にしていますか。

未来を託す子どもたちのためにも魅力ある学校づくりを急ぎ、教育者確保対策が最重要課題です。

【先生ありがとう】町民運動の推進も考えては。

新エネで環境改善・
経費削減



清水俊博議員

清水 温暖化効果ガスを発生させる化石燃料に替わる新たなエネルギーが今、求められています。「太陽光」は天然資源に非常に乏しいわが国にとってもっとも利用促進すべきエネルギーの一つです。環境先進自治体として推進している本町、クリーンで無尽蔵、販売先が明確なエネルギー「太陽光」の利用を拡大しない手はありません。町長の考えは。

① 町での利用の現状と今



クリーンエネルギーが地球を救う

後の導入促進策は

② 公共施設に導入し、売電による経費削減策を

③ 売電制度改正を追い風に、各家庭への支援策を

町長 既存エネルギーからの脱却のための新エネルギーの一つに、「太陽光」は普及拡大が期待されるエネルギーだと認識。

① エコレンジャー21を運用、年間2万7000kw、57万円の発電実績をみています。

② 日照時間量等を考慮し、最適地の選択が必要です。本庁舎における設置等も今後の検証課題です。

③ 国の補助金制度、買電制度等支援策の充実と併せ、各家庭での環境への理解が更に進み「太陽光」の利用拡充が進むことに期待しています。

課題はあるが期待は大きい



放課後も相談を受けています
—加美中学校—

サポート体制を
作ります

教育長

今日の風
潮は、教育

に対する期待が非常に大きく、反面、個人的主義主張による厳しい指摘の中での学校運営の難しさ、教師のおかれている立場も大きく変化し、授業そのものが命といひながら

部活・進路指導・生活指導・家庭との関係づくり・

苦情、学校評価ほか調査報告の増加などに必死に向き合っているが現状です。

学校現場の負担軽減を教育委員会としても支援する体制を整え、【教師に負担をかけない】を今年度の重点目標の一つとし、学校・教職員の応援団に徹したいと考えます。

住宅リフォーム助成制度
の創設を

辻

今、多可町には、

地域経済を下支えするという役割が期待されています。厳しい財政でも取り組める経済対策が必要

です。そこでわずかな経費でも経済波及効果が高い制度として全国で活用され、すでにその効果が実証されている住宅リフォーム助成制度の創設を求めます。町は新築助成を提案されています。その事



辻 誠一 議員

は歓迎できますが、厳しい経済情勢の中で、建て替えよりリフォームの方が件数が多くなるのは明らかです。

同時に取り組んでこそ経済効果上がるのでは。

まずは新築助成で

町長

厳しい状況の中で暮らしを守っておられる、それを支援したいという思いは持っています。

しかし財政状況は厳しく、多くの経費はかけられません。

そこで町としても少ない経費で効果を上げるという施策として、新築住宅助成制度を提案しています。



リフォームで快適な生活を

新築助成の延長線上に増改築があることは理解できますが、まずは関係団体から強い要望のあった新築助成で始めさせていただき、増改築については、慎重に検討させていただきます。

総務

昨年より改修をしてきた温水プール、ガルテン八千代テニスコートが、4月1日より新装オープンしました。

快適さが増した温水プール

委員会では工事の状況を確認しながら現場で問題点を指摘し、より良く改修されるよう要望をしてきました。

今回の改修で明るく、快適さが増しています。

物置場から新しく変身したスタジオは、太極拳、ヨガ、エアロビクスダンス等、住民皆さんの健康づくりを応援してくれるでしょう。



リニューアルコートで会心の一球 —ガルテン八千代—

すがすがしくなった テニスコート

全天候型アーバンコート4面の老朽化による亀裂のため使用不能となり改修。砂入り人工芝コートとして実施しました。照明も取替え明るくさわやかさを感じさせるコートができました。多くの愛好者の利用を期待します。

厚生

県営加美寺内住宅を 買い取り

県営寺内住宅を県から買い取り、町営住宅として管理することにしました。

寺内住宅は、平成6年に完成。10年以内に町が買い受ける契約になっていましたが、十分な引き継ぎができておらず、平成18年3月に開催された第2回町議会で指摘をするまで忘れられていました。

厚生常任委員会では、

- ① 買い取り期間の延長、
 - ② 買い取り費用の基金造成、
 - ③ 買い取り価格の引き下げ交渉をおこなうことなどを提起。
- 県において、外壁の補修工事など必要な修繕をすることを条件に町営住宅として買い取る事に同意しました。



町営住宅になった寺内団地

オストメイトトイレ 設置へ

現在、多可町にないオストメイトトイレ。不便を感じる方も多く、早期の設置を要望していましたが、21年度によりやく設置されることになりました。

設置場所などはまだ決まっていませんが、設置されれば、町内の方だけでなく、町外の方も安心して多可町に来ていただけるようになります。



大型車では怖いですが 一加美区観音寺一

産業 建設

次年度へと
つづく事業
しっかりと調査を

加美区川東線の道路改良新設工事が計画されています。

委員会では、この工事が不要不急の工事ではないのか、という視点から現地調査を重ね、改良工事が実施されれば、交通死亡事故根絶を願う地域住民の要求に叶うとの結論を出しました。

川東線全体は、北は丹波市、南は加西市、加古川市と多可

町を結ぶ根幹ルートです。国道との役割分担などを明確にしたビジョンの作成にむけて引き続き調査します。

シカ解体施設建設にむけて調査

多可町では今年、県からの補助を受けて、鹿を解体するための施設建設に向けて調査をすることになりました。

委員会では、まずは販路確保をと提案しています。

増加傾向にある遊休農地

委員会では、食料自給率向上などのためにも現在の農地が新たな放棄地にならないように、また良質な田畑へ復旧させるために、①農林業公社を活用した「トラスト対策事業」（農林業公社が3年間耕作し担い手に引き継ぎます。）②遊休農地を生き返らせる「リフレッシュ対策事業」（農地・農業施設等の復旧工事を行います。）の積極的な活用を推進しています。

行政 改革

さらなる節減への努力を

多可町における指定管理者制度は、平成21年3月で33施設の内25施設の契約期間が満了します。

指定管理期間満了に伴い、各施設の現状や決算状況を再調査し、4施設を使用賃借契約に変更、1施設を廃止する事により減額となりました。しかし、新しく施設を追加し、合計29施設とした結果、管理委託料の総額では増額となりました。

今後は、指定管理料ゼロを目指しての経営努力を求めていきます。

なお、借地は、賃借料を含め学校用地等、早急に購入交渉を進めるべきとし、集落内の公園等も、管理費を含めて地元での対応を進めるべきとしています。



これからは地元力もいただいで

歴史を感じて

おらが村は楮と名水

— 加美区奥荒田 —

千三百年の歴史を持つ杉原紙の原料楮。室町時代の播磨の名水十選から平成の名水百選に選ばれた「松か井の水」。歴史の文化と自然の恵みを守り支える奥荒田の皆さんの活動を、区長さん、老人会長さんに聞きました。

○楮植えはいつから

平成4年「奥荒田楮栽培互助会」として60aの楡林を伐採。4000株の植付けから始めました。

○作業の手順は

4月に元肥の牛ふんを役員主体で、5〜7月は下草刈りと追肥です。

暑い最中に行う芽コギは、大切な作業で会員総出の辛い作業になります。

○苦労話や楽しかったことは。

困ったことは、原因がわからないまま、楮が枯れたことです。そのため18年に全株植え替えまし

た。おかげで、年々収穫量は増えています。楮の収穫が大量にできたときのうれしさはひとしおです。みんなで集まる機会が増え、村のきずなが一段と深まりました。高齢化は進んでいますが見なさん元気なのが、村の強みです。



楮収穫祭 心が一つになります

今は、一人1カ月の当番制で管理と清掃をしています。

○利用者の反応は。

平成の名水に選ばれてから、随分多くの方が来られます。水でこんなに「ご飯やコーヒーの味が違うのかと驚かれています。

○毎日の掃除は大変では。

当初は家庭ごみの持ち込みもありました。放置せず掃除を続けることで、今は随分少なくなりました。気持ちよく利用していただけるよう、会員みんなでがんばりたいと思っています。

楮と名水を中心に、三世交代の新年会、夏まつりなど盛りだくさんの行事に取り組まれていますが、これからも心をつにして、楽しんでください。ありがとうございます。

編集後記

緑萌える若葉と鯉のぼりの季節となりました。今では家々に鯉のぼりを見るのが少なくなりました。

その分村おこしで、家に眠っていた鯉のぼりを集め、一斉に泳がせているところもあります。

過日、研修で走った国道29号線沿いの、鳥取県内の家の門前に、家紋をあしらった幟と悠然と泳ぐ真鯉、緋鯉を見ました。なぜか郷愁を覚えました。新年度予算審議をわかりやすく皆さんに伝えたく、紙面づくりに苦心しました。いかがでしょうか。

広報取材や写真撮影にご協力いただきましたこと、感謝しています。ありがとうございました。

安藤